

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和元年 8月20日
14時04分48秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02483 公民館施設管理事業

所属長名 久野 晃広
担当者 上原 幹久
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	006	公民館施設管理事業		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市公民館の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	公民館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようになる。
手段	施設の利用に関する受付事務及び施設の維持に係る改修、修繕、委託事務を実施します。
事務内容	施設の利用に関する受付事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	439,906	2,490,743	359,935
事業費	374,071	2,428,058	302,290
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	900,000	0
その他	42,134	752,752	38,674
一般財源	331,937	775,306	263,616
人件費計	65,835	62,685	57,645
正規（人）	10.45	9.95	9.15
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	施設の利用受付 施設の適正な維持管理を実施 文化センター大規模改修工事	施設の利用受付 施設の適正な維持管理を実施 文化センター大規模改修工事	施設の利用受付 施設の適正な維持管理を実施

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02483 公民館施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
部屋利用率（利用部屋数÷利用可能部屋数）	%	47.00 49.50	47.00 49.01	47.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ホールや会議室の貸館は、他にも多く行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ホールや会議室の貸館は、他にも多く行っています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	継続的な利用者も多く目標どおりに進捗している。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	民間活力の活用など検討を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設のあり方について課題を整理する必要があります。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	施設の利用者が快適に施設を利用できるよう老朽化する施設の保全とともに今後も継続して施設整備を実施していきます。また、施設のあり方について、多様化する市民活動など時代の変化にどのように適応するか課題の抽出と十分な検討のため情報収集を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

3頁
令和元年 8月20日
14時04分48秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02484 市民会館施設管理事業

所属長名 久野 晃広
担当者 浅井 隆之
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	004	14生涯学習			
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり			
事務事業	005	市民会館施設管理事業			
事業期間	昭和47年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市市民会館条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民会館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようになる。
手段	市民会館の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	68,176	71,481	72,008
事業費	66,916	70,221	70,748
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	66,916	70,221	70,748
人件費計	1,260	1,260	1,260
正規(人)	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習施設管理係
事務事業 02484 市民会館施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
会議室利用率	%	50.00	50.00	50.00
		55.84	57.34	0.00
サルビアホール利用率	%	50.00	50.00	50.00
		69.98	66.23	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ホールや会議室の貸館は他にも多く行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	発表会、講演会、会議での利用などニーズは多くあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	利用率は目標を上回り、多くの人が利用しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な事業運営をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	民間の企業力やノウハウを生かし、水準を保っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成27年度より指定管理者制度を採用し、平成30年度から5年間の新たな指定管理期間が始まっています。利用率の低下にならないように指定管理者との連絡調整を密にし、事業内容の確認、助言や指示を行っていきます。また、利用者が快適に施設を利用できるよう適切な維持補修等を実施するとともに、利用者サービス向上に向けて継続的に指定管理者の管理運営の監視及び指導を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

5 頁
令和元年 8月20日
14時04分49秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習施設管理係
事務事業 02485 天文普及事業

所属長名 久野 晃広
担当者 安藤 冨香
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	004	14生涯学習			
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	010	天文普及事業			
事業期間	昭和56年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・天文普及事業 ・プラネタリウム投映事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	天文の基礎知識を気軽に学ぶことができ、更に興味、関心を深めることができるようになる。
手段	幅広い年齢層を対象にした一般投映では広く天文普及を目指した番組を投映し、幼児や小中学生を対象にした団体投映では未来を担う子どもたちに宇宙に関する興味を抱かせるとともに、学校の授業の理解向上に繋がる番組を投映します。
事務内容	プラネタリウムの投映と番組更新及び天文普及に関する事務

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	14,998	30,947	35,820
事業費	12,478	28,427	33,300
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	408	1,483	2,600
一般財源	12,070	26,944	30,700
人件費計	2,520	2,520	2,520
正規(人)	0.40	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	一般投映の実施 (幅広い年齢層が観覧 できる番組) 団体投映の実施 (保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組) 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 (幅広い年齢層が観覧 できる番組) 団体投映の実施 (保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組) 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 (幅広い年齢層が観覧 できる番組) 団体投映の実施 (保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組) 特別投映の実施 天体観望会の実施

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02485 天文普及事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
一般投映及び団体投映 観覧者数	人	9,000.00 16,735.00	9,000.00 11,108.00	17,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	プラネタリウムの投映は、他にも多く行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	プラネタリウムの投映は、他にも多く行っています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	観覧者数は目標を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	専門知識を必要とする事業として委託化し効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と比較しても水準は保たれています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民が天文に対し興味を持ち、学ぶことができるプラネタリウムとして、魅力ある投映を実施していきます。また、天文に関する興味、関心、想いを啓発し、天文の基礎知識及び天文現象等に対する探求心や知識を高めるため、特別投映、天体観測会などを実施し、天文普及に関する事業を進めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和元年 8月20日
14時04分49秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

所属長名 久野 晃広
担当者 浅井 隆之
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	004	安祥閣施設管理事業		
事業期間	昭和54年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安祥閣の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	安祥閣の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようになる。
手段	安祥閣の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	7,369	7,820	8,463
事業費	6,109	6,560	7,203
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,109	6,560	7,203
人件費計	1,260	1,260	1,260
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
部屋利用率 (利用部屋数 ÷ 利用可能部屋数)	%	28.90 23.47	28.90 24.89	28.90 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	部屋の貸館は他でも多く行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	部屋の仕様が和室のみであり、利用が限定されます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	和室のみの利用として限定され、目標を下回る状況です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な事業運営をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	民間の企業力やノウハウを生かし、水準を保っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成18年度より指定管理制度を採用しています。和室限定の部屋仕様ということもあり、お茶会などで利用していただいているものの利用率について伸び悩んでいるのが現状です。また施設竣工より40年が経過し老朽化する中で、バリアフリー対策等も含めた施設整備を行うか否か総合的な視野のなかで施設の存続、廃止のあり方を検討する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和元年 8月20日
14時06分13秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

所属長名 久野晃広
担当者 天野信治
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	003	生涯学習計画推進事業		
事業期間	平成17年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第2号、第13条、第15条～第18条			
備考				

【事業分析】

対象	生涯学習推進計画が
目的	計画どおりに進捗する。
手段	平成28年3月に第3次安城市生涯学習推進計画を策定し、計画の進行管理・評価を定期的実施する場として、社会教育審議会に毎年度計画の進捗状況を報告し、意見・提言を得る機会を設けます。
事務内容	生涯学習推進計画の施策・事業の進捗管理、関係部局の関連事業の調査 社会教育審議会の開催、社会教育委員の各種研修会・大会等への参加等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	2,265	2,868	7,931
事業費	375	348	3,206
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	375	348	3,206
人件費計	1,890	2,520	4,725
正規（人）	0.30	0.40	0.75
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	社会教育審議会において、第3次生涯学習推進計画の進捗状況報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加	社会教育審議会において、第3次生涯学習推進計画の進捗状況報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加	社会教育審議会において、第3次生涯学習推進計画の進捗状況報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和元年 8月20日
14時06分13秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	13,100.00 12,682.00	13,500.00 13,244.00	13,900.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の計画であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市の計画であり、他の事業主体が行うものではありません。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年によって増減はあるが、概ね順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	社会教育委員の方々に研修会等に参加していただいています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	委員報酬は市の基準とおりです。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会教育法に定められた社会教育委員は、市の社会教育に対して助言をいただける重要な役割があり、社会教育委員の方々に県の社会教育連絡協議会の研修会等に参加いただき、多様な生涯学習施策の情報や他市の生涯学習活動について情報交換いただき、本市の今後の生涯学習の推進に引き続きご意見、ご提言をいただくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

3 頁
令和元年 8月20日
14時06分13秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業

所属長名 久野晃広
担当者 岩田直人
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	004	生涯学習市民参画推進事業		
事業期間	平成13年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考				

【事業分析】

対象	生涯学習に意欲のある市民団体が
目的	市と協働することにより、活発に活動できるようになる。
手段	市民団体が企画運営する講座を募集し、市と協働で市民企画講座を開催します。 自主グループが自ら主催する初心者向けの自主グループ主催講座を開催します。
事務内容	講座の募集、開講講座の審査・決定、講座開催の周知・PR、講座の開催等

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	6,193	5,952	4,130
事業費	1,153	597	1,610
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	119	20	75
一般財源	1,034	577	1,535
人件費計	5,040	5,355	2,520
正規(人)	0.80	0.85	0.40
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	市民企画講座を前期・後期で開催 自主グループ主催講座を開催 市民企画講座・自主グループ主催講座を生涯学習情報誌で周知	市民企画講座を開催 自主グループ主催講座を開催 市民企画講座・自主グループ主催講座を生涯学習情報誌で周知	市民企画講座を開催 自主グループ主催講座を開催 市民企画講座・自主グループ主催講座を生涯学習情報誌で周知

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1年間に新たに活動を始めた自主グループ数	グループ	19.00 34.00	19.00 23.00	19.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民団体の事業で、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの団体、自主グループが活動しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値以上の自主グループが活動しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講座の企画、運営は市民団体が実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	団体が、時代や環境に即した講座を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	多様化する学習ニーズや社会的ニーズに柔軟に対応するため、市民自らが企画・運営し、市民同士で楽しみながら、学び、教える生涯学習活動を目指すための重要な事業として本事業を実施していくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

5 頁
令和元年 8月20日
14時06分13秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業

所属長名 久野晃広
担当者 太田菜月
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	009	家庭教育・子育て支援事業		
事業期間	平成17年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第7号、公民館の設置及び運営に関する基準第4条			
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の親が
目的	子育てに関する講座の受講や、親どうしの交流の機会を多く得ることができるようになる。
手段	よりよい家庭教育の推進、社会教育の観点から子育ての支援を図るため、家庭教育講演会や子育て・親育ち広場を開催します。
事務内容	家庭教育講演会における講師の選定・委託、開催 子育て・親育ち広場の運営委託等

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	3,683	4,490	6,181
事業費	1,163	1,340	1,771
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,163	1,340	1,771
人件費計	2,520	3,150	4,410
正規(人)	0.40	0.50	0.70
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	家庭教育講演会の開催 ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催	家庭教育講演会の開催 ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催 安城市小中学校PTA連絡協議会の活動を支援するため補助金を交付	家庭教育講演会の開催 ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催 安城市小中学校PTA連絡協議会の活動を支援するため補助金を交付

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ほのほの広場への参加人数	人	450.00 1,136.00	450.00 1,294.00	450.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域の母親対象の事業で、他の事業主体が行うものではありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年、多くの市民に参加いただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値を大きく上回る市民の方々の参加をいただいています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	NPO法人に事業運営をお願いしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においても様々な家庭教育事業が実施されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会全体が家庭における子育てや教育を応援し支えていく必要が求められ、地域において親の学びを支援する継続的な取り組みを行っていくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和元年 8月20日
14時06分13秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02491 生涯学習情報提供事業

所属長名 久野晃広
担当者 太田菜月
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	002	生涯学習情報提供事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第16号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第2項			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	生涯学習情報を容易に得ることができる。
手段	市の生涯学習情報を掲載した情報誌「あんでな」を発行し、市内に全戸配布し、生涯学習情報を市民に提供します。
事務内容	生涯学習情報の収集、情報誌作成委託業者の選定・委託等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	9,454	11,780	11,595
事業費	6,934	7,685	7,500
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	570	817	840
一般財源	6,364	6,868	6,660
人件費計	2,520	4,095	4,095
正規（人）	0.40	0.65	0.65
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回 有料広告掲載	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回 有料広告掲載	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回 有料広告掲載

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02491 生涯学習情報提供事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
生涯学習情報誌の発行回数	回	4.00 4.00	4.00 4.00	4.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の情報提供であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民が生涯学習の情報を得る手段として利用されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの発行ができています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ICTの活用などによる情報提供をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても様々な方法で情報提供されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民が気軽に手にして活用していただけるよう、多様な情報提供を進めるとともに、より分かりやすい、使いやすい情報誌となるようにICTの活用による情報提供を加えるなど、市民が生涯学習情報を得る重要な手段として継続的に実施していく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02493 公民館講座事業

所属長名 久野晃広
担当者 岩田直人
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	007	公民館講座事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考	平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から以下の事業を統合します。 ・公民館講座事業 ・シルバーカレッジ事業 ・市民大学事業 ・ものづくり推進事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	多様な学習機会の提供を受けることができる。
手段	趣味・教養・健康づくりなど、一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学びの機会を提供し、ライフステージ、学びのレベルに応じた学習機会の提供を進めます。
事務内容	講座の企画、講師の依頼、周知、受講生の募集、開催、謝礼の支払

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	85,037	97,107	98,557
事業費	8,177	13,632	17,287
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,771	1,282	1,474
一般財源	6,406	12,350	15,813
人件費計	76,860	83,475	81,270
正規(人)	12.20	13.25	12.90
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民館主催講座を開催 地区公民館5館で家庭教育学級を開催 地区公民館5館で乳幼児学級を開催 地区公民館10館で高齢者教室を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、文化センターでシルバーカレッジ、ものづくり講座等を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、文化センターでシルバーカレッジ、ものづくり講座等を開催

事務事業評価シート (2 / 2)

10 頁
令和元年 8月20日
14時06分13秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02493 公民館講座事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	13,100.00 12,682.00	13,500.00 13,244.00	13,900.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館講座であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの応募があり、講座によっては抽選で受講者を決定しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年によって増減はあるが、概ね順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	受講生に講座の準備をさせていただくなどしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体でも同様に公民館が講座を開催しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会情勢が刻々と変化しており、生涯学習に求められるテーマもますます多様化する中で、市民一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学習機会の充実を図るため、市民にニーズにあった講座・教室を開催していく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

所属長名 久野晃広
担当者 太田菜月
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	006	公民館地域ふれあい事業		
事業期間	昭和55年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条、第20条、公民館の設置及び運営に関する基準第6条			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・公民館地域ふれあい事業 ・公民館まつり事業 ・公民館文化事業			

【事業分析】

対象	地域住民や地区公民館の利用団体が
目的	地域における交流を深めるようになる。
手段	地区公民館において、地域住民や利用団体が交流する機会と、学習の成果を発表する機会を提供するため、ふれあい事業や公民館まつり等の事業を実施します。
事務内容	地域代表の住民等と事業内容の検討、事業の住民へのPR、事業の実施及び予算の執行

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	103,437	98,293	98,659
事業費	9,567	9,463	10,459
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	18	0	0
一般財源	9,549	9,463	10,459
人件費計	93,870	88,830	88,200
正規(人)	14.90	14.10	14.00
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民館まつりを開催 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり、どろんこまつり、ウォーキング大会等の開催	地区公民館10館で公民館まつりを開催 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり、どろんこまつり、ウォーキング大会等の開催	地区公民館10館で公民館まつりを開催 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり、どろんこまつり、ウォーキング大会等の開催

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
公民館まつり等のふれあい事業参加者数		40,000.00 42,394.00	40,000.00 39,703.00	40,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館の地区が対象であり、他の事業者が行うものではありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年、多くの方に参加いただいております。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年によって増減はあるが、概ね順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	自主グループやボランティアの方々に協力をいただいております。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の施設においても同様の事業が実施されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地区公民館において、幅広い世代の地域住民の交流を広げるために、各地域、公民館において地域住民のニーズにあった特色を出した事業を展開していく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02498 講座等参加支援事業

所属長名 久野晃広
担当者 鳥居有香
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	002	講座等参加支援事業		
事業期間	平成元年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考				

【事業分析】

対象	子育て世代や障がい者が
目的	希望する講座を受講しやすい環境を作る。
手段	子育て世代への講座参加支援として、託児付きの講座を開催します。また、障がい者への参加支援として、手話通訳者や要約筆記者を設置した講演会等を開催します。
事務内容	託児者、手話通訳者、要約筆記者の手配、報償費の支払、託児世話人研修会の開催、託児世話人賠償責任保険の加入

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	5,983	6,735	6,510
事業費	4,723	5,475	5,250
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	82	74	90
一般財源	4,641	5,401	5,160
人件費計	1,260	1,260	1,260
正規(人)	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	託児付講座の開催 市民大学における手話通訳者・要約筆記者の設置	託児付講座の開催 手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催	託児付講座の開催 手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02498 講座等参加支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
参加支援をした講座数	講座	35.00 37.00	35.00 42.00	35.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市事業での託児、手話通訳者派遣で他で行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方に利用していただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値以上の講座を開催しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	NPO法人、市民団体等に託児世話人をお願いしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体でも、託児や手話通訳者の設置は行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	女性活躍推進法、障害者差別解消法が制定・施行され、育児に携わる女性の社会参加を促すため、生涯学習の機会を提供することが重要であり、子育て世代の生涯学習を推進していくため、市民や市民団体の協力を得ながら、託児付きの公民館講座を継続的に開催していく必要があります。また、障がい者に対しても手話通訳者や要約筆記者を設置した講演会等の開催など障がい者に対する差別解消の施策が必要となる中で、今後も本事業に取り組んでいく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和元年 8月20日
14時07分54秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	001	青少年の家管理運営事務		
事業期間	昭和58年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市青少年の家の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	青少年の家利用者が
目的	施設を快適に利用することができる。
手段	青少年が研修を行うため施設内の部屋を貸し出し研修をする場所を提供します。
事務内容	利用申請書の受付、施設管理事務等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	18,139	18,985	20,852
事業費	14,989	16,465	18,332
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,796	1,862	2,042
一般財源	13,193	14,603	16,290
人件費計	3,150	2,520	2,520
正規（人）	0.50	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	青少年の家利用回数 4,491回 利用人数 87,455人	青少年の家利用回数 4,070回 利用人数 70,784人	青少年の家利用回数 4,000回 利用人数 70,000人

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和元年 8月20日
14時07分54秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
青少年の家利用登録団体数青少年団体	団体	70.00	70.00	70.00
		88.00	75.00	0.00
青少年の家利用登録団体数一般団体	団体	70.00	70.00	80.00
		113.00	87.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	青少年の健全な育成を目的とした施設は市内には他にありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	青少年団体等が活動する施設として必要とされています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	多くの団体が登録しており、目標を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	利用者増加のために施設のPRを充実させました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	利用団体が必要とするサービス水準となっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	青少年の健全な育成を目的とした施設であり、青少年団体の活動の場として多くの団体が登録し施設を利用して います。また、青少年団体以外の一般団体からも多数利用されています。 今後は、他市の同様の施設に関する情報を収集して管理運営の課題を抽出し、より適正な管理運営ができるよう 検討します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02500 少年団体支援事業

所属長名 久野 晃広
担当者 田中 千裕
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	003	少年団体支援事業		
事業期間	昭和59年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・少年団体育成事業 ・地域ぐるみ親子ふれあい推進事業			

【事業分析】

対象	小学生が
目的	活動を通して健全育成が図られます。
手段	活動する団体等(スカウト、子ども会又は小学校区単位での親子ふれあいの事業)に対して補助を行うことで健全育成活動の円滑化を図ります。
事務内容	安城市スカウト連絡協議会、安城市子ども会育成連絡協議会、又は同協議会における各学区育成会の計画・補助金の申請、事業実施、事業報告、補助金の交付。

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	13,073	11,899	12,641
事業費	8,978	7,804	8,546
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,978	7,804	8,546
人件費計	4,095	4,095	4,095
正規(人)	0.65	0.65	0.65
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	安城市子ども会加入者数7,062人 スカウト加入者数381人 地域ぐるみ親子ふれあい推進事業参加者数子ども3,232人 大人1,795人 合計5,027人	安城市子ども会加入者数6,720人 スカウト加入者数350人 地域ぐるみ親子ふれあい推進事業参加者数子ども3,106人 大人1,801人 合計4,907人	安城市子ども会加入者数6,400人 スカウト加入者数350人 地域ぐるみ親子ふれあい推進事業参加者数子ども3,000人 大人1,800人 合計4,800人

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02500 少年団体支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
子ども会加入者数	人	7,200.00 7,062.00	6,700.00 6,720.00	6,400.00 0.00
スカウト加入者数	人	470.00 381.00	380.00 350.00	350.00 0.00
地域ぐるみ親子ふれあい推進事業実施学区数	箇所	21.00 18.00	21.00 21.00	21.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域で活動する団体の支援であり、他機関は実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	各少年団体から市の支援を必要とされています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	団体の加入者数は減少しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	子ども会役員の負担軽減のため活動内容の見直しをしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も同様の事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子ども会における地域での活動やスカウトでの奉仕活動を通して子どもたちの健全育成を図っていきます。加入者数が減少傾向にあるため、各活動の魅力を発信するとともに、役員や指導者の負担が軽減できるよう検討します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

5 頁
令和元年 8月20日
14時07分54秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02501 青年講座事業

所属長名 久野 晃広
担当者 橋本 美香子
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	004	14生涯学習			
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	001	青年講座事業			
事業期間	昭和27年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・ユースカレッジ事業 ・ヤングセミナー事業				

【事業分析】

対象	講座に参加する青年男女が
目的	余暇を有効に活用して、生涯学習を行う又は深める機会を提供します。
手段	様々な分野で、青年男女自身の生涯学習となる講座を年間を通じて開催します。
事務内容	講座の企画・立案、開催。講師の選定。受講者の募集。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	4,960	3,785	4,045
事業費	1,495	1,265	1,525
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	107	101	1
一般財源	1,388	1,164	1,524
人件費計	3,465	2,520	2,520
正規(人)	0.55	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	ヤングセミナー講座数 (青年講座) 6講座 ユースカレッジ講座回 数 56回	青年講座数 4講座 ユースカレッジ講座回 数 43回	青年講座数 5講座 ユースカレッジ講座回 数 43回

事務事業評価シート (2 / 2)

6 頁
令和元年 8月20日
14時07分54秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02501 青年講座事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ヤングセミナー（青年講座）参加者数	人	60.00 97.00	60.00 56.00	60.00 0.00
ユースカレッジ修了者数	人	28.00 23.00	20.00 16.00	18.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内の青年の成長を目的とした事業のため、市が実施します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	講座内容により参加希望者が多数になります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	ユースカレッジの受講者数が減少しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講座内容の見直しを実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も同様の講座を開催しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	青少年に余暇を活用した学びの場を提供することで、教養や経験を高めるとともに地域や職場でのリーダーとして成長してもらうために必要な事業であり、今後も継続していきます。ただし、ユースカレッジ、青年講座ともに参加者が減少しているため、講座内容に関するニーズの把握に努めるとともに青少年の成長に資する講座となるよう内容を検討し、より魅力のある事業にしていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

7頁
令和元年 8月20日
14時07分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02502 成人の日記念事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	004	14生涯学習			
施策の方針	001	14生涯学習その他			
事務事業	002	成人の日記念事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	新たに成人となる者が
目的	成人の日記念式典に参加します。
手段	成人の日記念式典の実施を行い、成人者を祝福するイベントとして「アトラクション」を行います。
事務内容	実行委員会の開催、会場設営・警備会社と契約、記念冊子作成、来賓案内等

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	4,085	6,470	9,259
事業費	3,014	4,265	7,054
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,014	4,265	7,054
人件費計	1,071	2,205	2,205
正規(人)	0.17	0.35	0.35
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	成人者の式典参加者数 1,819人 (デンパークにて開催)	成人者の式典参加者数 1,729人 (安城市体育館にて開催)	成人者の式典参加者数 1,750人 (安城市体育館にて開催)

事務事業評価シート (2 / 2)

8 頁
令和元年 8月20日
14時07分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02502 成人の日記念事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
式典の参加者率	%	75.80 82.50	80.00 73.80	75.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内の全新成人を対象とした式典で、他機関では実施していません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	新成人のうち7～8割の参加者があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	会場である体育館内に入らない新成人が若干いました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新成人が式典の企画及び運営を行い、人件費を削減しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も同様の事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新成人に大人になったことを自覚してもらい、またそれを祝福し励ます式として必要であることから、今後も継続して事業を実施します。平成30年度から会場を変更しましたが、成人式にふさわしく、また多くの新成人が参加できる式となるよう、内容を充実させる必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

9頁
令和元年 8月20日
14時07分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02503 青少年指導者養成事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	002	青少年指導者養成事業		
事業期間	昭和28年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から次に掲げる事業を統合しています。 ・青年指導者養成事業 ・ジュニアリーダー・年少リーダー育成事業 ・市民盆踊りの集い開催事業 平成29年度の公開行政レビューの結果、平成30年度から市民盆踊りの集い開催事業を廃止します。			

【事業分析】

対象	青年たちが
目的	生涯学習の機会を得て、社会活動への参加・交流及び地域のリーダーとしての資質を得ます。
手段	青年たちが行事を企画・実施する能力を養うため、研修会に参加したり企画したものを実施します。
事務内容	研修会開催通知発送、行事企画運営の指導、指導者の育成。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	4,429	2,524	3,195
事業費	2,287	319	990
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,287	319	990
人件費計	2,142	2,205	2,205
正規(人)	0.34	0.35	0.35
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	盆踊り講習会3回 太鼓講習会2回 盆踊りPRうちわ配布 ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数17回 安城市青年団体親善ソフトボール大会、バレーボール大会	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数16回 青年企画委員会によるイベントの開催	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数16回 青年企画委員会によるイベント開催

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02503 青少年指導者養成事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ジュニアリーダークラブ会員数	人	20.00	20.00	15.00
		21.00	16.00	0.00
市民盆踊りの集い参加人数	人	1,600.00	0.00	0.00
		1,619.00	0.00	0.00
企画実行メンバー（養成対象）人数	人	0.00	5.00	5.00
		0.00	7.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域におけるリーダーの養成で、他機関は実施していません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子ども会からジュニアリーダーの派遣要請があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年度途中でジュニアリーダークラブ退会者がありました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	市民盆踊りの集いに代わるイベントを企画・実施しました		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	市民盆踊りの集いに比べ事業規模を縮小しました。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	当事業は、青少年が地域におけるリーダーとしての素養を養うために必要な知識や技術、企画力を習得し、さらにはそれを地域に加減できるようにするために実施しており、今後も継続して実施していく必要があると考えます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

11 頁
令和元年 8月20日
14時07分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02504 青少年愛護センター事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目(施策)	002	18学校教育			
施策の方針	003	豊かな心やたくましい体の育成と健康教育の推進			
事務事業	010	青少年愛護センター事業			
事業期間	昭和57年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市青少年愛護センターの設置及び管理に関する条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・青少年健全育成会等活動推進事業 ・青少年街頭指導事業 ・こども110番の家設置事業 ・地域のおじさん・おばさん運動推進事業				

【事業分析】

対象	青少年を
目的	地域で見守ることで有害環境から守り、家庭の外での安全性を確保し、青少年の健全育成に資するものです。
手段	青少年に対しての声かけ、こども110番の家ののぼり旗設置による犯罪抑止、各小中高等学校の青少年健全育成会等に活動を委託しています。
事務内容	街頭指導員の任命・研修会実施、謝礼支払。こども110番の家加入状況の管理とのぼり旗の配布。各小中高等学校の青少年健全育成会等との委託契約、活動内容の把握及び指導。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	7,801	11,205	10,340
事業費	5,911	7,740	6,875
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	6	6	2
一般財源	5,905	7,734	6,873
人件費計	1,890	3,465	3,465
正規(人)	0.30	0.55	0.55
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	健全育成会数 36 健全育成協議会数 9 街頭指導員研修会 1回 非行防止街頭一斉啓発各地区 1回 こども110番の家ののぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査(全件)	健全育成会数 36 健全育成協議会数 9 街頭指導員研修会 1回 非行防止街頭一斉啓発 こども110番の家ののぼり旗配布・設置状況調査 若者相談回数 105回 親の学習会 5回	健全育成会数 36 健全育成協議会数 9 こども110番の家ののぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査(全件) 若者相談回数 120回 親の学習会 6回

事務事業評価シート（2/2）

12頁
令和元年 8月20日
14時07分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02504 青少年愛護センター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
街頭指導実施回数	回	90.00	100.00	0.00
		111.00	105.00	0.00
子ども110番の家設置数	箇所	1,100.00	1,200.00	1,300.00
		1,195.00	1,221.00	0.00
困難を抱える若者相談者数	人	0.00	0.00	40.00
		0.00	33.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	青少年健全育成のための事業であり他機関では実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	青少年健全育成は社会全体の問題であり必要とされています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	子ども110番の家設置拡大のための周知を行いました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	青少年を取り巻く環境の変化により、業務の改廃を行いました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	市民が必要とするサービス水準となっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成30年度は、青少年を取り巻く環境や抱える課題に応じて、青少年愛護センターで取り組む業務を廃止または休止し、新たな業務を開始するなど、事業内容の見直しを行いました。具体的には、街頭指導委員による街頭指導を年度末で休止、地域のおじさんおばさん運動を年度末で廃止し、新たに困難を抱える若者に対する支援を開始しました。今後も青少年の健全な育成に資する取組を継続します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

13 頁
令和元年 8月20日
14時07分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業

所属長名 久野 晃広
担当者 田中 千裕
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	004	14生涯学習			
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり			
事務事業	001	青少年ボランティア活動支援センター事業			
事業期間	平成15年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	青少年が
目的	ボランティアに登録・活用する人たちから受ける社会教育活動を支援します。
手段	青少年の豊かな人間性を育むため、ボランティア情報の収集・提供、相談などボランティアに関するコーディネートを行うことにより、社会教育活動を支援します。また、指導者や講師を青少年ボランティア活動支援センターへ登録し、青少年活動を支援する人材として活用します。
事務内容	ボランティアの発掘、登録、コーディネート

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	1,547	1,568	1,629
事業費	917	938	999
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	917	938	999
人件費計	630	630	630
正規(人)	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	青少年ボランティアの コーディネート件数4 7件	青少年ボランティアの コーディネート件数3 4件	青少年ボランティアの コーディネート件数4 0件

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
コーディネート件数	件	50.00	50.00	35.00
		47.00	34.00	0.00
登録者数	人	150.00	50.00	50.00
		49.00	49.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ボランティア活動の推進のため、市の関与も必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子ども会をはじめ青少年団体からの派遣要請があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コーディネート件数の減少は集計方法を変更したためです。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	市子連総会での派遣のPR、広報での登録者の募集を行いました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体や社協でも同様の事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子ども会をはじめとした青少年団体がボランティアを必要とする機会が多いため、ボランティアをコーディネートする当該事業は今後も継続して実施します。また、ボランティア登録の募集、コーディネートが必要とする団体への呼びかけも引き続き行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

15 頁
令和元年 8月20日
14時07分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	001	子ども運動広場補助事業		
事業期間	昭和53年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	子ども運動広場設置事業補助金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	子どもたちが
目的	地元の広場で安全に運動できる
手段	町内会が設置する子ども運動広場の新設、修繕、管理にかかる費用を補助金交付要綱に基づき、補助しています。
事務内容	補助金交付要綱に基づき、町内会から申請書受理。その後審査、決定、交付事務。

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	24,075	30,184	34,939
事業費	23,319	28,924	33,679
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	23,319	28,924	33,679
人件費計	756	1,260	1,260
正規(人)	0.12	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	23箇所の子ども運動広場に補助	23箇所の子ども運動広場に補助	24箇所の子ども運動広場に補助

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
子どもたちの利用回数	回	3,300.00 2,980.00	3,000.00 3,096.00	3,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の補助事業として実施しており、他機関からの補助はありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域の子供たちが多数利用しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	子ども会による利用回数が増えました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	用地謝礼の単価を見直しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	ソフトボールができる広場を想定しており、補助内容は適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	本事業は、町内会による広場の開設又は維持管理にかかる経費の一部を補助する事業であり、地域における子どもたちの体力の向上及び体育の振興を図るために必要であることから、今後も事業を継続します。また、今後は広場内の設備を老朽化等により撤去する費用についても補助対象とします。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。